【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】令和3年8月19日(2021.8.19)

【公表番号】特表2019-527297(P2019-527297A)
【公表日】令和1年9月26日(2019.9.26)
【年通号数】公開・登録公報2019-039
【出願番号】特願2018-568962(P2018-568962)
【国際特許分類】
Ｂ２２Ｆ　3/035　(2006.01)
Ｂ３０Ｂ　11/02　(2006.01)
Ｂ２２Ｆ　5/00　(2006.01)
Ｂ２２Ｆ　5/10　(2006.01)
Ｂ２８Ｂ　3/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２２Ｆ　3/035
Ｂ３０Ｂ　11/02　Ｆ
Ｂ２２Ｆ　5/00　Ｚ
Ｂ２２Ｆ　5/10
Ｂ２８Ｂ　3/02　Ｍ

【誤訳訂正書】
【提出日】令和3年7月6日(2021.7.6)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
－　第１のプレス軸（Ａ）に沿って、互いに向かってかつ互いから離れて移動可能に配置されている第１のポンチ（８）および第２のポンチ（９）と、
－　前記第１のプレス軸（Ａ）に非平行である少なくとも第２の軸（Ｂ）に沿って、端部位置に向かってかつこれから離れて移動可能に配置されている第１のダイ部材（１００）および第２のダイ部材（２００）とを備える、切削インサート素地体（２）を製造するためのプレス工具（１）であって、
－　前記第１のダイ部材（１００）は第１のダイキャビティ面（１０３）を含み、前記第２のダイ部材（２００）は第２のダイキャビティ面（２０３）を含み、前記ダイ部材（１００、２００）は、前記端部位置に、前記第１のポンチ（８）および前記第２のポンチ（９）を受容する第１の開口部（４）および第２の開口部（５）を有するダイキャビティ（３）を形成するように構成されており、さらに、
－　前記第１のダイ部材（１００）および前記第２のダイ部材（２００）が前記端部位置にある場合、前記ダイキャビティ（３）を貫通して、前記第１のダイキャビティ面（１０３）と前記第２のダイキャビティ面（２０３）との間に延在しているコア（６）と、
－　前記コア（６）の少なくとも部分を形成する第１のコア部分（４０）と
を備え、
前記第１のコア部分（４０）は、前記第１のダイ部材（１００）または前記第２のダイ部材（２００）内に配置されており、前記第１のコア部分（４０）は、前記第１のダイ部材（１００）または前記第２のダイ部材（２００）と一緒に前記端部位置へ移動させられるように、前記第１のダイ部材（１００）または前記第２のダイ部材（２００）に結合さ

れており、前記第１のコア部分（４０）は、前記第１のダイ部材（１００）または前記第２のダイ部材（２００）に解除可能に取り付けられている、プレス工具（１）。
【請求項２】
前記第１のコア部分（４０）は前記第１のダイ部材（１００）内に配置されている、請求項１に記載のプレス工具（１）。
【請求項３】
前記第１のダイ部材（１００）は、前記第１のダイキャビティ面（１０３）から前記第１のダイ部材（１００）の後端部（１１０）に向かって延在している第１の穴部（１０５）を含み、前記第１のコア部分（４０）は、前記第１の穴部（１０５）内に配置されている第１のピン（４２）を含む、請求項２に記載のプレス工具（１）。
【請求項４】
前記第１のピン（４２）の少なくとも部分が、前記第１のダイ部材（１００）の前記穴部（１０５）に接着でまたは機械的に結合されている、請求項３に記載のプレス工具（１）。
【請求項５】
前記第１のダイ部材（１００）は第１の凹部（１０７）を含み、前記第１のコア部分（４０）は、前記第１のダイ部材（１００）の前記第１の凹部（１０７）内に嵌合するように構成されている第１のロック部材（４５）を含み、これにより、前記ロック部材（４５）と前記第１の凹部（１０７）とは、前記第１のコア部分（４０）の回転移動および／または並進移動が制限されるように、前記第１のロック部材（４５）が前記第１の凹部（１０７）内に保持されるように構成されている、請求項２から４のいずれか一項に記載のプレス工具（１）。
【請求項６】
前記コア（６）の少なくとも部分を形成する第２のコア部分（５０）を含み、前記第２のコア部分（５０）は前記第２のダイ部材（２００）内に配置されている、請求項１から５のいずれか一項に記載のプレス工具（１）。
【請求項７】
前記第２のダイ部材（２００）は、前記第２のダイキャビティ面（２０３）から前記第２のダイ部材（２００）の後端部（２１０）に向かって延在している第２の穴部（２０５）を含み、前記第２のコア部分（５０）は、前記第２の穴部（２０５）内に配置されている第２のピン（５２）を含む、請求項６に記載のプレス工具（１）。
【請求項８】
前記第２のピン（５２）の少なくとも部分が前記第２のダイ部材（２００）の前記第２の穴部（２０５）に接着でまたは機械的に結合されている、請求項７に記載のプレス工具（１）。
【請求項９】
前記第２のダイ部材（２００）は第２の凹部（２０７）を含み、前記第２のコア部分（５０）は、前記第２のダイ部材（２００）の前記凹部（２０７）内に嵌合するように構成されている第２のロック部材（５５）を含み、これにより、前記第２のロック部材（５５）と前記第２の凹部（２０７）とは、前記第２のコア部分（５０）の回転移動および／または並進移動が制限されるように、前記第２のロック部材（５５）が前記第２の凹部（２０７）内に保持されるように構成されている、請求項６から８のいずれか一項に記載のプレス工具（１）。
【請求項１０】
前記第１のコア部分（４０）が前記第１のダイ部材（１００）と一緒に前記端部位置へ移動させられ、かつ前記第２のコア部分（５０）が前記第２のダイ部材（２００）と一緒に前記端部位置へ移動させられ、前記ダイキャビティ（３）を貫通する前記コア（６）を形成するように、前記第１のコア部分（４０）は前記第１のダイ部材（１００）内に配置されており、かつこれに結合されており、前記第２のコア部分（５０）は、前記第２のダイ部材（２００）内に配置されており、かつこれに結合されている、請求項６から９のい

ずれか一項に記載のプレス工具（１）。
【請求項１１】
前記第１のコア部分（４０）は第１の前部（４１）を含み、前記第２のコア部分（５０）は第２の前部（５１）を含み、前記第１の前部（４１）と前記第２の前部（５１）とは互いに相互係合して、前記ダイキャビティ（３）を貫通する連続コア（６）形成するように適合している、請求項６から１０のいずれか一項に記載のプレス工具（１）。
【請求項１２】
前記第１のコア部分（４０）と前記第２のコア部分（５０）の一方の全圧縮剛性が前記第１のコア部分（４０）と前記第２のコア部分（５０）の他方の全圧縮剛性より高い、請求項６から１１のいずれか一項に記載のプレス工具（１）。
【請求項１３】
前記第１のコア部分（４０）は、前記ダイキャビティ面（１０３、２０３）上に載るように構成されている肩状部（４４、５４）を含む、請求項１から１２のいずれか一項に記載のプレス工具（１）。